

復興推進会議（第44回）

議事要旨

1 日 時：令和7年11月18日（火） 7:52～7:59

2 場 所：官邸2階 小ホール

議事の概要：

（1）復興加速化への取組

資料に基づき、牧野復興大臣から報告が行われた。

（2）内閣総理大臣挨拶

最後に、高市内閣総理大臣から、下記の発言があった。

○ 東日本大震災から14年8か月が経過しました。福島の本格的な復興・再生、東北の復興は、政府の重要な課題です。

○ 被災地の方々の絶え間ない御努力により、復興は着実に進展しておりますが、一方で地域によって状況は様々です。

○ 「原子力災害被災地域」については、引き続き国が前面に立って、福島の本格的な復興・再生に取り組んでまいります。

それぞれの地域の実情を踏まえながら、避難者の帰還や生活環境の整備、産業・なりわいの再生などの取組を一層進めてまいります。

また、除去土壌等の県外最終処分の実現に向けては、昨年設置した閣僚会合の下、復興再生土の利用における先行事例の創出、県外最終処分に向けた検討、国民の皆様の理解醸成等の取組を着実に推進してまいります。

- 「地震・津波被災地域」については、ハード整備などは概ね完了した一方で、心のケア等、中長期的な対応が必要な課題については、丁寧に取り組んでまいります。
- 来年度から、5年間の「第3期復興・創生期間」が始まります。本年6月に閣議決定された「復興の基本方針」に基づき、復興に向けた様々な課題について、まずは次の5年間で何としても解決していくという強い決意で、被災地の復興に全力を尽くしてまいります。
- 「福島の復興なくして、東北の復興なし。東北の復興なくして、日本の再生なし。」全閣僚が、この強い決意の下、現場主義に徹底したきめ細やかな対応により、被災地の復興のための取組を更に加速させていくよう全力で取り組んでください。

(以上)